

イルカ

Iruka

イルカ公式HP <http://www.iruka-office.co.jp/>



東京生まれ。
女子美術大学に在学中からフォークグループを結成、シュリークスを経て、74年ソロデビュー。

翌75年『なごり雪』が大ヒットし、シンガーとしての地位を確立。

80年には女性シンガーソングライター初の日本武道館公演を成功させる。

2021年に50周年を迎え、現在も毎年全国ツアーを続けている。ニッポン放送「イルカのミュージックハーモニー」のラジオパーソナリティは30年目。2004年、IUCN国際自然保護連合初代親善大使に就任。絵本・エッセイの執筆や、母校である女子美術大学にて客員教授も務める。2012年からは「環境と伝統的物作りは密接な繋がりがあふ！」と「生物多様性」をテーマに

着物のデザイン・手描き・染めを手掛けるなど活動の幅を広げている。母親でもあるイルカは、これらの作品や活動を通じて「私達は皆、この地球という大きな生き物に住む細胞同志である」というメッセージを、世代を超えた沢山の人々へ伝え続けている。

近年、自伝的アルバム「惑星日誌〜今、伝えたいこと〜」や、息子の神部冬馬も参加したアルバム「原石時代」が好評を得ている。2021年には50周年記念ラブソング・ベストアルバム「あたしだってLove song!」や「冬の贈り物〜イルカアーカイブVol. 7」を発売。2022年8月、50周年記念オリジナルアルバム「うたのこども」をリリース予定。50周年を経て、ますます精力的に活躍中。

太田裕美

Hiromi Ohta

1974年「雨だれ」でデビュー以後「木綿のハンカチーフ」、「赤いハイヒール」、「九月の雨」、「さらばシベリア鉄道」、「君と歩いた青春」など数えきれない名曲を歌い、フォークと歌謡曲のジャンルを超えた新しいシンガーとして、現在のJ-POP女性VOCALISTの道を開いた。

2004年から始まった“なごみーず(伊勢正三・太田裕美・大野真澄)”のライブは200回を超え開催。

また2015年より始まった、太田裕美、庄野真代、渡辺真知子の3名とN響団友オーケストラとの「オーケストラで歌う青春ポップスコンサート」も大好評を得る。

2017年4月、TV番組「名盤ドキュメント」の放送をきっかけに、1975年発売のアルバム「心が風邪をひいた日」が再び注目を浴び、ネットチャートをにぎわす。その後アナログ盤の復刻発売にまで至る。さらにこの年、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の劇中歌「恋のうた」を歌い、話題となる。

近年は毎年、東京・京都にてソロコンサートを開催している。

2019年、5月、デビュー45周年記念の7インチアナログ盤「ステキのキセキ」「桜月夜」をリリース。さらに11月、記念アルバム「ヒロミ☆デラックス」発売。



神部冬馬

Toma Kambe

公式サイト <http://tomakambe.net>



1978年東京生まれのシンガーソングライター。2008年にメジャーデビュー。母はフォークシンガーのイルカ。2009年にJ1リーグヴァンフォーレ甲府の公認応援歌『君は青い風／泥だらけの靴』など現在までに5枚のCD(アルバム／シングル)をリリース。ヴァンフォーレ後援会会長も務める。2010年より山梨県公認「やまなし大使」に任命されている。

2013年よりYBSテレビ『ててて!TV』レギュラー出演(2020年まで)。また舞台出演も開始。代表作に「吾が輩は狸である(主演)」、「夢に向かって(主演)」、「スガナレル」などがある。

2016年7月にベルウッド・レコードより最新アル

バム「夢みるくじら」をリリース。同年、山梨県立桃花台高校の校歌も作成。

2019年『海ゴミゼロプロジェクトinやまなし』推進リーダー就任。2020年、母イルカと初の共作楽曲「原石」(作詞:イルカ 作曲:神部冬馬)を発表。

澄んだハイトーン・ヴォイスを持ち味に、ライブやイベントで活動中。トークイベントMCやナレーションなども行っている。

趣味は旅行、スポーツ観戦、料理、ゲーム、サウナ(健康アドバイザー資格保有)、デザイン研究、エアライン研究など多岐にわたり、多趣味を生かしたトークが数多くのラジオ番組で生かされている。

主催・問い合わせ

(公財)津山文化振興財団
TEL. 0868-24-0201

新型コロナウイルス
感染症予防対策に
ご協力をお願いいたします



不織布
マスク着用



手指消毒



検温実施



チケットへの
連絡先記入



ソーシャル
ディスタンス